

～小浜風童太鼓～

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要：
富岡町を含む原子力災害の被害を受けた地域は、祖先から連綿と受け継いできた地域伝統及びコミュニティの崩壊をどの様に防いでいくか大きな課題を有しており、本事業を通じ奏者同士、そして太鼓教室及びイベント等参加者のアイデンティティ回復や心のケア、コミュニティの促進を目的とする。

取組の効果・特徴：
震災後、小浜風童太鼓は古里への思いを強く認識し、町催事や中学生など様々な方を対象とした太鼓教室の開催、先祖供養のお盆期における演奏を行ってきた。各種教室を継続しながら、様々な状況にある被災者が古里に来て・楽しんで・交流を深める伝統行事「盆踊り大会」等を開催し、奏者のみならず、参加する町民へ心の癒しの提供や交流、富岡にルーツを持つことに誇りを持てる事業を行う。

取組内容

【取組①「事業名：盆踊り大会」、実施主体：小浜風童太鼓】

- 1. いつ : 令和7年8月14日(木)
- 2. どこで : 富岡町ふれあいドーム
- 3. 誰を : 帰還者・避難者・移住者



【取組②「事業名：太鼓教室の開催」、実施主体：小浜風童太鼓】

- 1. いつ : <復興公営住宅等での教室>
10回／年程度
(1回あたり1, 5時間の教室)
<富岡町での教室>
3回／月程度
(1回あたり1, 5時間の教室)
- 2. どこで : <復興公営住宅等教室>
いわき市、三春町、他
<富岡町での教室>
学びの森、富岡中学校、風童太鼓和太鼓の里、その他
- 3. 誰を : 団地住民、帰還者・避難者・移住者



次年度以降の展開

○帰還者・避難者・移住者との交流の場として「太鼓教室」「盆踊り大会」が有効であるかの意見をとりまとめ改善事項を網羅し、新たな方策を導き次年度以降に展開していく。